

テーブル

- ・テーブルの上に立ったり、飛び跳ねたり腰掛けしないで下さい。また、踏み台として使用しないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
- ・テーブルを横にしたり、立てかけたりしないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
- ・テーブルの上に物をのせるときは、端の方から一箇所に集中してのせないでください。転倒の恐れがあります。
- ・テーブルの端に極端な力をかけないで下さい。転倒し、ケガや破損の恐れがあります。
- ・脚、ネジ、金具類に緩みやぐらつきが無いかとときどき点検してください。
- ・移動する際は床面をひきずらないで下さい。必ず大人2人以上で持ち上げて運んで下さい。ケガや床面のキズ防止になります。
- ・物をのせたままでの移動はしないで下さい。落下やのせた物の破損、ケガの恐れがあります。
- ・製品には手をついたり、寄りかからないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
- ・陶磁器の底でこすったり、やかん、なべ、コーヒークップ、茶碗などの熱いものを直接置かないで下さい。変色やキズの原因になります。
- ・コーヒーマシンの油などをこぼした場合はすぐに拭き取って下さい。変色や変形の原因になります。
- ・ビニールやガラスを長時間上にのせて使用しないでください。カビ、変色、変形などの原因になります。
- ・テーブルトップの角に、体や物などぶつけないように十分注意してください。ケガや破損の恐れがあります。
- ・塗料や接着剤などに含まれる成分が稀に、肌の敏感な方などにアレルギー症状を起こす場合があります

チェア

- ・座る目的以外では、使用しないでください。転倒し、ケガや破損の恐れがあります。
 - ・椅子の上に立ったり、踏み台代わりに使ったり肘部や背もたれに乗ったりしないで下さい。転倒、ケガ、破損の恐れがあります。
 - ・製品にぶら下がったり、無理な力で引っ張ったり、強い衝撃を与えないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
 - ・座った状態で、椅子を傾けないでください。転倒し、ケガや破損の恐れがあります。
 - ・床面の平らな場所に水平に置いて下さい。転倒や、商品破損、変形の恐れがあります。
 - ・直接日光が当たる場所、温度の高い場所、暖房器具の付近で高温になる場所では使用しないで下さい。
- また、壁面、設置物との間は出来るだけ離し、風通しのよい場所に置いて下さい。変色、変形、火災、カビ・ダニ発生の原因となります。
- ・椅子に物をのせないで下さい。椅子の転倒、物の落下、床面等にキズが付く恐れがあります。
 - ・脚部、ネジに緩みや破損がないか定期的に点検して下さい。放置してのご使用はケガや破損の恐れがあります。
 - ・椅子を移動するときは、ひきずらずしっかりと持ち上げて下さい。ケガや床面にキズが付く恐れがあります。
 - ・幼児一人では、使用させないで下さい。転倒や落下して、ケガや破損の恐れがあります。
 - ・椅子を濡らした状態、また素肌で座らないでください。椅子の汚れやカビの原因になる恐れがあります。
 - ・ドライヤー、温風ヒーター、ストーブなど、暖房器具類での乾燥はしないでください。変色、変形、火災の発生の恐れがあります。

収納家具

- ・家具の上に立ったり、飛び跳ねたり腰掛けしないで下さい。また、踏み台として使用しないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
- ・製品の端に極端な力をかけないで下さい。転倒し、ケガや破損の恐れがあります。
- ・ネジ、金具類に緩みやぐらつきが無いかとときどき点検してください。
- ・移動する際は床面をひきずらないで下さい。必ず大人2人以上で持ち上げて運んで下さい。ケガや床面のキズ防止になります。
- ・物をのせたままでの移動はしないで下さい。落下やのせた物の破損、ケガの恐れがあります。
- ・引き出しや棚などに引火性の強い薬品や、ベンジン、接着剤などは入れないで下さい。火災や悪臭の原因となります。
- ・家電製品などを収納する際は、十分な隙間を取ってください。発熱による故障や火災の恐れがあります。
- ・製品には強い衝撃を与えないで下さい。ケガや破損の恐れがあります。
- ・塗料や接着剤などに含まれる成分が稀に、肌の敏感な方などにアレルギー症状を起こす場合があります

設置上のご注意

- ・床面の平らな場所に水平になるように設置してください。転倒や破損の原因になります。
- ・床面が、畳、フローリング、クッションフロアーなどの場合は敷物を敷いてご使用下さい。床面へのキズ防止になります。
- ・クッションフロアーの上で使用しますと、脚が木製の場合、塗料と床面が反応して汚れる場合がございます。
- ・直射日光のあたるところや暖房器具のそばなど温度の高いところでは使用しないでください。変色、変質の原因になります。
- ・風通しのよいところで使用してください。カビやダニの原因になります。
- ・温度差の激しいところ、乾燥の激しいところで使用しないでください。変質、変形の原因になります。
- ・温度の高いところや屋外では使用しないでください。カビやダニ、変質の原因になります。

お手入れ方法

■木部

- ・日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れのひどい時は中性洗剤をぬるま湯で薄め（3パーセント程度）柔らかい布に浸し、固く絞ったもので拭き取った後に柔らかい布で乾拭きしてください。化学雑巾や揮発油などの溶剤系ものは絶対に使用しないで下さい。

■プラスチック・金属部

- ・日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れのひどい時は中性洗剤をぬるま湯で薄め（3パーセント程度）柔らかい布に浸し、固く絞ったもので拭き取った後に柔らかい布で乾拭きしてください。化学雑巾や揮発油などの溶剤系ものは絶対に使用しないで下さい。
- ・金属部には、その後に潤滑油を塗り柔らかい布で拭き取ってください。

■布張り部

- ・コーヒー等で汚した時は、中性洗剤をぬるま湯で薄めて（3パーセント程度）柔らかい布に浸し、固く絞ったもので表面を軽くたたいて拭き取って下さい。その後、水を浸し固く絞った布で拭き取り、自然乾燥させて下さい。

■革張り部

- ・日頃のお手入れは柔らかい布で軽く拭き取り、定期的に市販の革張用クリーナーで磨いて乾燥後、乾拭きをしてください。自動車用用品、靴用クリームなど多目的クリーム・溶剤は絶対に使用しないで下さい。

■長期保管場所について

- ・湿気の少ない場所で保管してください。湿気はカビ、ダニなどの発生やシミの原因になります。

■虫害について

- ・虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

廃棄するとき

廃棄処分するときは、許可を受けた産業廃棄物処理業者か、各自治体が実施している条例にしたがって適切に廃棄してください。